

パブコメワークショップの開催結果について

1. 開催概要

日 時：2022（令和4）年10月15日（土）10～12時

場 所：門真市役所本館2階 大会議室

参加者：9名 ※市民ワークショップ参加者のうち参加希望者

内 容：かどまパークミーティングのふりかえりと成果

門真市パークイノベーション計画素案の概要説明

意見交換（門真市パークイノベーション計画の推進に向けて）

2. 開催結果

（1）意見交換のまとめ

参加者からは、計画素案の内容については特に異論は無く、計画素案への反映が必要なご意見は特になかった。

また、今後の取組についての要望やアイデアに関するご意見をいただくとともに、ボール遊びなど子ども達のために、公園で様々なことができるように地域ルールを考えていけたらよい、といったご意見もいただいた。

最後に、門真市パークイノベーション計画に基づく取組を推進していくにあたり、市民と行政とが連携して取り組んでいく必要があることを、共有することができた。

（2）個別意見の記録

【門真はすはな、第三中学校グループ】

○浜町保育園跡地について

- ・子どもが遊べる場所に。
- ・イベントができる公園に。
- ・草が生えて虫捕りができる場所があってもいい。
- ・公園の名前は愛着をもってもらえるものに。
- ・周りの地域の方のご意見を聞いて考えてほしい。

○石原町2号チビッコ広場について

- ・フェンスをなくせば座って使いやすくなるのでは。
- ・明るくしてベンチがあればよい。

○用途転換について

- ・使われていない公園を用途転換する方針はよいが、用途転換後をどうするかが大事。
- ・地震の時まず公園に集まってから避難するので、空いている方がいい公園もある。

○その他の意見

- ・草が生えている公園は虫捕りができるので、綺麗すぎると子どもの評判が良くなかったり

- する。例えば、石原町公園の一角に草ぼうぼうの場所をつくれないうか。
- ・公園以外の空き地で子どもが遊べるようにできないか。
 - ・自治会館が隣にありトイレを使わせてもらえる公園はよいが、そうでない公園はトイレがなく不便。
 - ・古い遊具が多い。ペンキを塗るだけでも随分良くなると思う。

【第二、第四、第五、第七中学校グループ】

○ボール遊び、地域ルール

- ・広場があるのに、ボール遊び禁止の看板がある公園ばかりなのももったいない。
- ・花火は公園くらいしかできそうなところはないのにしづらい。自分の子ども達のために、地域の自治会と直接話をして、この日のこの時間だけ、ということで花火をさせていたことがある。⇒そのような地域ルールを考えていけたらよいと思う。

○公園の利用範囲

- ・公園のメインの利用者を子ども達とするならば、歩いて行ける場所、また、ベビーカーでも行きやすい場所にあることが大事なので、どんな範囲で、どんな機能が必要なのか、その『範囲』を考えることが重要だと思う。

○公園の施設等

- ・公園に水道があれば、小さな子ども達の遊びや、イベント時などにも役立つ。
- ・弁天池公園は駐車場が少ない。イベント時はすぐにいっぱいになる。水道も少ないと思う。
- ・遊具が減り、小さな子ども達が遊びやすい公園が減っているように思う。複合遊具など目を引く遊具もよいが、鉄棒やブランコなどの基本の遊具も必要だと思う。

○近隣市の公園の利用

- ・子ども達には、風揚げなどの広々とした場所でできる昔遊びもさせてあげたいと思うが、市内では場所が限られているので、淀川河川公園や大東市の公園へ行っている。
- ・中高生が部活などで走りやすい公園が市内には無いので大東市の公園へ行っている。

○地域の見守り、維持管理

- ・使ってもらうにはきれいな公園であることが大切。きれいに管理するためには、草刈りや清掃など地域の方々の協力が大事だと思う。
- ・安全に安心して利用できる公園にするためには、防犯カメラの設置も大事。また、地域の人たちの見守りがあることも大事。いつも誰かがいる公園になると良い。たとえば、郵便ポストを設置する、というのも一つの方法かもしれない。
- ・昔は、地域の人同士のコミュニケーションの中で、自然と地域の見守りの目があったと思う。そのように、地域の人々を良い巻き込み方ができればよいと思う。